

2021年度 大宮小学校 行動計画・学校自己評価・学校関係者評価

重点目標	行動計画		学校自己評価		学校関係者評価				
	到達度のわかる目標	評価	成果と課題・改善策や今後の方向性	評価	意見等				
学校教育目標 『自ら学び、心豊かで、しなやかに生きる子どもの育成』 ①自ら課題を見つけ、とことん考える子「もっと知りたい」 ②自分の考えや気持ちを表現し、伝え学び合える子「伝えたい」 ③お互いの違いや良さを認め合い、自他を大切にできる子 ④しなやかな強さを持ち、なんにでも前向きに挑戦しようとする子 目指す子ども像 『明日も来たいと思う学校』 目指す学校像 『もっと知りたい伝えたい ～自分の考えや気持ちを表現し伝え合うことのできる児童の育成～』									
A-達成 B-ある程度達成 C-未達成 ○:成果 ▲:課題 ◆:来年度に向けて									
「確かな学力の育成」 学びに向かう力、生きる思考力・判断力・表現力、技能、課題に対応できる	(1)学力向上の推進 ①研究主題にせまる取組の推進 ②外国語教育・情報教育(タブレット活用)の推進 ③学び合い学習の推進 ④言語技術の育成	「計画的に研修を積み上げ、成果があった」と答える教職員90%以上。	A	○外国語を中心に、一人1回の研究授業を実施。英語授業の「大宮小スタイル」が確立し、どの担任も自信を持って英語の授業を行っている。研修活動の教職員評価でもA/Bの肯定的評価が100%。※評価は4段階で、C/Dは否定的評価。 ○学力調査(4,5,6年)は国や県の平均を上回る結果を出している。 ○研究主題である『伝えたい』の部分(自分の考えが言える)では、児童アンケートで昨年度に比べ自己評価が高くなっている。 ▲研究主題である『もっと知りたい』の部分(考えることが好き)では、児童アンケート、A評価:49%、B評価:36%(肯定的評価が85%)であるが、「面白い、もっと知りたい」が学習の原点であるので、さらなる課題としたい。 ◆論理的な思考をし、筋道を立てて言葉や文章で伝える力(アウトプット)については、学力調査の分析からも課題にあがっている。分析後の取組で成果も見られているが、さらに6年間を見通した組織的な取組が重要。	(A)(A)(A)(B)	・英語については、小学校の学習で中学校での英語レベルが減ると思う。楽しい英語に興味を持たせて欲しい。 ・国語力(話し言葉)は、社会(若い世代)でも気になることがある。人材育成という面でも、きちんとした言葉で伝えられる力をつけることは大切。			
		「理論的に考え表現できる力が児童についてきた。」と答える教職員80%以上。	B						
		「考えることが好き」と答える児童80%以上。	B						
		「授業で自分の考えが言える」と答える児童80%以上。 単元テストで学習内容の80%以上の定着。 ※学調や実力テストなどの結果も分析する。	A						
	(2)特別支援教育の充実 ①子ども理解と支援体制の充実 ②全職員による情報交換と共通理解 ③学校に出にくい児童への対応 ④外部機関(専門機関)との連携	「先生は自分をよく分かってくれている」と答える児童90%以上。	A	○児童アンケート「先生は分かってくれる」A評価83%(昨年71%)、B評価12%の結果。保護者アンケート「子どもを理解しようと…」A評価61%(昨年47%)、B評価34%。 ○教職員アンケート「支援が必要な子どもの理解と支援体制が充実している」A評価25%(昨年8%)、B評価:50%。 ○スクールカウンセラー、奥伊勢教育支援センターなど、関係機関との連携も進んできている。定期的な校内支援会議も開催した。 ◆課題がある子に対して、多くの先生による声をかけ、スクールカウンセラーや外部機関との連携など、子ども理解と支援体制の充実を目指している。すぐに結果が出る訳ではないが学校全体で一人一人の子どもの課題を共有し、学校全体で考えようとする取組を継続させていきたい。	A(A)(A)(A)	・学校や社会の中で、子どもや家庭に様々な課題があることは肌で感じている。			
		「学校は子どもをよく理解しようとしている」と答える保護者90%以上。	A						
		「子ども理解と支援体制が充実していた」と答える教職員90%以上。校内支援会議月1回開催。 SCや奥伊勢支援センターとの連携。(校内研修、ケース会議の実施)	B						
	(3)教職員の授業力・資質向上 ①わかる授業(授業力)向上のための研修 ②研究授業や教師間の授業参観の推進 ③学調やみえスタの分析と授業改善 ④校外研修への積極的な参加	「授業が分かる」と答える児童90%以上。	A	○児童アンケート「授業がわかる」A評価:68%(昨年度59%)、B評価の合わせると肯定的評価は95%。保護者アンケート「学校は分かり易い授業に取り組んでいる」A/Bの肯定的評価98%。 ○研究授業後の反省会でKJ法を活用するなど、研究・実践が深まる工夫・改善を行った。研究活動の教職員評価では、A評価:64%、B評価:36%。 ○個々の教員の日々の実践を交流する目的で「研修だより」という職員間の通信の発行に取り組み、通算40号を発行した。 ○全教職員で学力調査の分析に取組み、その結果を授業改善に結びつける取組に繋がった。 ◆学力向上に並行して体力向上の取組も充実させる。(保護者アンケートから)	A(A)(A)(A)	・先生方が一生懸命にやってくれていることが良く分かった。 ・他の項目についても同様である。			
		「学校は分かりやすい授業に取り組んでいる」と答える保護者90%以上。	A						
		「研究授業や校内研修は資質向上につながった」と答える教職員90%以上。	A						
		学調やみえスタの分析や取組が授業改善や学力向上に繋がったと答える教職員80%以上。	A						
	(1)防災・安全・健康教育の推進 ①自分の命を自分で守れる児童の育成 ②教職員の危機管理意識の向上と組織力の強化 ③実践的な訓練の実施 ④健康教育・食育の充実 ※コロナ感染症対策	安全教育・健康教育・食育の計画的な実施。 ※年間計画に基づく実施やその内容	A	○月1回の避難訓練、引渡し訓練、定期的な安全点検、アレルギー対応の職員訓練など、年間計画にしたがって安全教育を行った。児童アンケート「地震や火事の時の行動」A評価:83%、B評価:16%の結果。 ○新型コロナウイルス感染症対策については、流行の波を捉え、その時々に応じた対策を取った。児童も感染対策については習慣化している。 ▲訓練により、地震や火事の際の型にはまった行動は自然に取れるようになっているが、「自分で考え、判断し、臨機応変な行動が取れる」ことについては課題がある。訓練や学習での工夫が必要。 ◆不審者対応など、教職員の危機管理のスキルアップに繋がる実践的な訓練を充実させる必要がある。	A(A)(A)(A)	・地域の防災については活動もあるが、学校の方が意識が高いように思った。 ・阿曽地区では水害が大きな課題であるので、地域では水害対策についても力を入れたい。			
「自分は火災・地震時の行動が分かっている」と答える児童100%。		B							
「学校は子どもの安全確保対策に努めている」と答える保護者95%。		A							
危機管理に関わる教職員アンケートで肯定的な評価が100%。		B							
(2)道徳性・人権意識の育成 ①いじめや差別のない安心安全な学校 ②違いや良さを認め本音が出せる仲間づくり ③日常生活のあらゆる場面を重視 ④大宮中学校区人権協会の活動の推進	「学校は楽しい」と答える児童90%以上	A	○児童アンケート「学校は楽しい」A評価74%、B評価:23%。「いじめは絶対許さない」A評価:92%、B評価:8%(昨年度はC評価:4%あり)。 ○6年児童全国調査「人が困っている時進んで助けているか？」A評価88%(全国平均44%) ○保護者アンケート「学校は仲間づくり。心の教育を大切に…」A評価64%(昨年55%)、B評価:34%。 ○コロナ禍の中、子ども達は社会の不安や差別心に惑わされることなく、助け合って行動した。一貫して友達を思いやる姿が見られた。 ◆3年前に人権教育の研究発表を行い、大宮中学校区の人権教育の基盤(カリキュラムや研修体制)を作った。この体制を維持していく。	A(A)(A)(A)	・コロナ禍での身近に見聞きする誹謗中傷などの状況を見ると、子どもの方が人権意識や思いやる気持ちがあるように思う。また学校での人権意識の醸成はとても大切であると感じる。				
	「いじめは絶対に許さない」と答える児童100%。	A							
	「学校は仲間づくりや心の教育を大切にしている」と答える保護者90%以上。	A							
	道徳・人権教育の計画的な実施。 ※年間計画に基づく実施やその内容	B							
(3)人とつながる力の育成 ①自己肯定感や自尊感情の育成 ②児童会や学級活動で仲間づくりを推進 ③ソーシャルスキル、コミュニケーション能力の育成 ④QUの分析と活用	「自分には良い所がある」と答える児童90%	A	○児童アンケート「自分には良いところがある」A評価:55%、B評価:40%。「人と話しや活動が楽しい」A評価:86%、B評価:13%。 ○6年児童全国調査「人の役に立つ人間になりたいか？」A評価:100%(全国平均75%)。 ○保護者アンケート「学校は子どもの良いところを認める活動をしている」A評価:66%、B評価:19%。 ◆日々の学級活動や学校行事を通して、仲間づくりの視点を大切に自己肯定感を高めようとする活動は本校の大きな特徴である。今後も児童・教職員・保護者が同じ方向を向いて取組を進めたい。「自分には良いところがある」のA評価をもっと高めたい。	A(A)(A)(B)	・「自分には良いところがある」については、100%の子どもが自信を持って「はい」と言えるようになって欲しい。そのためには友だち同士で良いところを認め合う活動が大切だと思う。				
	「学校は子どもの良いところを認める教育活動を行っている」と答える保護者90%以上	A							
	「人と話したり一緒に活動することは楽しい」と答える児童90%以上。	A							
	「QUを分析し、学級活動に活かすことができた。」と答える教職員90%以上。	B							
(1)地域学習の充実 ①学習のねらい(つきたい力)の明確化と工夫 ②郷土の特色を生かした継続性のある取組 ③人との出会いを通してその思いや願いを知る取組 ④取組の発信	ねらいを明確にして地域学習を行うことができた」と答える教職員90%以上。	A	○地域や保護者の学校に対する協力姿勢はとても高いので、様々な活動を行うにあたっては大変心強い。 ○児童アンケート「この地域(ふるさと)が好き」A評価:91%、B評価:9%は特筆すべき数字である。 ○6年の全国調査「地域や社会を良くするために考えることがあるか？」A評価:71%、全国平均18%に比べて大変高い。 ▲コロナ禍の中、出会い・交流学習については中止があった。 ◆保護者アンケートから「地域を学ぶことで地域の未来像を考えさせる取組をして欲しい」との意見があった。キャリア教育との関連で、その視点は取り入れたい。	A(A)(A)(A)	・地域学習など、地域を知り大切にすることは活動は大切であるが、教員の負担ばかり増えている。行政も含めて地域全体で動く必要がある。 ・来年度発足する「学校運営協議会」の活動にも期待したい。				
	「学校は地域に根ざした活動を大切にしている」と答える保護者90%	A							
	「地域学習は好き」と答える児童90%以上。	A							
	「この地域(ふるさと)が好き」と答える児童90%以上。	A							
	(2)情報発信の充実 ①各種たより、HPによる情報発信 ②授業参観や学校公開の推進 ③学校評価・関係者評価の充実と学校改善	「学校の様子(たよりやHP)で知ることができると答える保護者90%				A	○保護者アンケート「学校の様子はたよりやHPで…」A評価:61%(昨年:41%)、B評価:27%。「学校は保護者は地域の声を活かした…」A評価:50%、B評価:47%。その他、「学校は相談に迅速・適切に対応」A評価:64%、B評価:33%。 ○保護者アンケート「大宮小に満足している」A評価:61%(昨年:56%)、B評価:34%。 ▲コロナ禍により今年も3学期に授業参観とPTA研修会は実施できず。 ◆より良い学校を創るためには、学校と保護者の信頼関係がなにより大切である。現在の大宮小の子ども・先生・保護者の関係はお互いを尊重し信頼し合える関係である。今後もその関係を維持したい。	A(A)(A)(B)	・最近様々な事象や活動について、多様な意見がある。学校においても同じであると思う。多様な意見をふまえて活動は難しいことでもあると思うが頑張ってもらいたい。
		「学校は保護者や地域の声を活かした学校経営に取り組んでいる」と答える保護者90%以上。				A			
		学期に1回の授業参観、各種行事への参加呼びかけを積極的に行う。				B			
	(3)教職員が働きやすい環境づくり ①校内安全衛生委員会の活用と定例化 ②時間外労働削減、会議時間短縮、定時退校、休暇取得	時間外労働の削減(月平均30H以内) ◆上限:月45H、年360Hを超えない。				A	○時間外労働、「月45H、年360Hを超えない」の基準は達成。 ○毎週火曜日の定時退校の取組は、2月末で96%の達成率。 ▲休暇取得15日以上は約半数の職員が達成。 ▲会議1時間については、資料の事前配布や提案方法の工夫などを行っているが、話し合う内容も多く、達成率は50%程度にとどまっている。 ◆教職員アンケート「勤務時間削減の取組の推進」A評価:31%(昨年:0%)、B評価:69%に見られるように、職員の意識は高まっていると思われるが、依然、教職員の日常を見ていると忙しいことに変わりない。教育活動のねらいを明確化し、軽重を上手に付けながら効率よく成果を挙げるサイクルを確立する必要がある。休暇については放課後の時間休暇などの取得などもっと推進したい。	B(B)(B)(B)	・学校の先生が頑張ってくれていることはよく分かっている。学校自己評価でまだ「B」のところがあるが、すべて「A」になるようになって欲しいと思う。
休暇取得の推進(一人年間15日以上)		B							
会議時間の短縮(1H以内の会議80%)		B							
定時退校日の設定(毎週火曜日、達成率90%)		A							